2009 年度アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名［石川県河北郡内灘町立向粟崎小学校］　担当教諭［　角　納　裕　信　］			
児童生徒の学年・クラス・参加人数：［3年1組 34 名］［3年2組 33 名］			
実施期間：2009 年 4 月　～2010 年 3 月			
交流：有　国名[イタリア]　学校名[ナルニ小学校]　学年[第 3 学年]　担当教諭[ステファニア先生]			
実施教科・時数 アートマイルに関連した時間すべて（総合は外国語活動、環境など中身がわかるよう）。必要に応じて行を追加してください。	教科	単元名	時数
	社会科	「我が町発見！内灘町紹介」	5時間
	地域学習	「ポッドキャストを作って発信しよう！」	10 時間
	国際理解教育	「英語で自己紹介、我が町紹介！」	5時間＋放課後課外

■作品について教えてください。

題（テーマ）	地域から地域へ Cultureal　Exchange　Between　Local　And　Local
絵に込めたメッセージ	自分たちの住んでいる町を調べ、町に愛着を持ち、その町のことを交流相手国のイタリアの友達にも知らせてあげたい、そしてイタリアのこともその町にしかないことを教えて欲しい。地域を愛するが故にお互いに自分たちの地域のことを自慢しあいたい。そして良いところ、すてきなところを認め合いたい。絵は半分ずつ描き、真ん中の橋で結ばれあいたい。それこそが、地域から地域へのつながりであると思うから。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	5 月 ～ 7月	・地域探検・地域発見	・発信するネタを作らなければならないので、みんな楽しい中にも真剣に取り組んだ。	社会科
情報収集	7 月 ～ 9 月	・アイアーンモロッコ会議に出席しながら、今年度のアートマイルテーマを探る。ナルニ小の様子を聞く。帰国後、児童に紹介する。	・「行ってみたい。」「きれいな町」「どんな子供たちがいるのだろう？」と早く交流し始めたい気持ちでいっぱいな様子である。	社会科 総合（国際理解・地域理解）
テーマ検討	9 月 ～ 11 月	・お互いの自己紹介、地域紹介をしながらテーマを絞っていく。結局、地域紹介していたことの延長がテーマになる。	・自己紹介カード作成、ビデオ作成、地域紹介ポッドキャスト日本語版、英語版作成、と楽しみながら情報機器を活用し、言語表現応力もついていった様子である。	総合（国際理解・情報教育・地域学習）
制作	11 月 ～ 12 月	・3 年生だけの手では、いきなり大きなキャンバスに下書きを描くのは難しいため、大人の手を借りる。しかし、原案は、児童が相談して考え、代表の児童が下書きしたもので、大人はその案を拡大しただけである。	・慎重な児童が多いので、発破をかけないと力強い作品ができない、と思ったが、予想に反して、大胆に、楽しそうに、協力して塗っていった。休み時間や放課後を利用して、順番に班ごとに塗っていった。塗り絵感覚で「やさしさ」が「楽しさ」に変化して行っているようであった。	総合的な学習（地域学習）、学級会活動（協力）
鑑賞	2 月 ～	・半分だけ完成したキャンバスの前に全員座り、記念撮影した。	・撮った写真をもとに T シャツ作りをして、一人一人自分たちの手元に残るものを作った。	学級会活動（絆）

■学習目標と成果はどうでしょうか？（「重視」には指導にあたって重視したものを1位～5位まで記入を、「先生の手応え」はすべてについて以下の1～5で評価してください。）

（5：とても身についた　4：身についた　3：どちらともいえない　2：あまり身につかなかった　1：まったく関連がなかった）

つけたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
コミュニケーション・スキル	2 位	**5**・4・3・2・1	全員が英語で自己紹介をはきはきとできるようになったこと。
情報活用能力（収集・発信）	3 位	**5**・4・3・2・1	住んでいるところを調べ、ポッドキャストで発信した。
人間関係をつくる（交流相手・学級内）		5・**4**・3・2・1	同、内灘の西荒屋とは非常に密な関係ができた。が、イタリアとは残念ながら。
協同作業をする力（役割・段取り）		**5**・4・3・2・1	班単位で仲良く活動できていた。全員が、描くことに関わることができた。
異文化の理解	5 位	**5**・4・3・2・1	クラスの約半分の児童が、スピーチフェスティバルに出場。外国語に興味が出た。
自文化の理解・自分を見つめる	4 位	**5**・4・3・2・1	自分たちの住んでいる地域をまんべんなく調べた。また、ラジオ局の協力を得て発信した。
表現力	1位	**5**・4・3・2・1	伝える相手に、たくさん恵まれたため、伝わるように随所に児童自身が工夫を凝らしたこと。
学習を追究する意欲		5・**4**・3・2・1	非常に意欲的な児童と、普通に考えている児童との差が出てしまった。
作品を鑑賞する力		5・4・**3**・2・1	今年度の作品がまだ、返ってきていないため。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
交流というものを、細かく分析することができた。（教師） ①　自分たちで伝えるネタをつかむ ②　大多数に向けて一方的発信 ③　伝える相手に向けて、発信―受信の交互通行 ④　発信―受信―また、発信できる力 これらの過程の中で一人一人の児童に「表現力」が付いた。	どんな教科であってもそうであるが、意欲のある児童は最後までその意欲が継続し、得るものも非常に大きい。意欲の継続しない児童は、得るものもそこそこである。最後まで意欲的に活動した、ついてきた児童は親をも巻き込んで大きな活動とすることができた。満足感・充足感も大きい。

■アートマイルに対する校内・保護者や地域の方の反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報の機会	校内・保護者や地域の方からの反響
学校ホームページや実際にやっている活動を通して随時、広報活動に努めた。また、生涯学習課にも広報活動の協力をお願いしたりした。	校長先生、教頭先生、同学年の先生、地域の方々、保護者の方々からは大変協力いただき感謝している。また、活動を通して子どもたちがつけた力は大きい。（一人一人が物怖じせず、表現することができるようになった。）そのため、保護者からも非常に感謝された。

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

今後も、形を変えながらどんどんいろいろなタイプのアートマイルプロジェクトがあればいいな、と思います。また、どんどん発表していきたいと思います。よろしくお願いいたします